

G-Pen2 / G-Board

Gridmark

Gridmark

取扱説明書

このたびは、G-Pen2/G-Board をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品のご使用前に本書を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。また、
本書はいつでもみられるようにお手元に大切に保管してください。

1、ご利用の前に

①安全性および取扱に関する重要な情報

負傷を避けるために、「G-Pen2、G-Board」を使用する前に、以下の安全性に関する指示をよくお読みください。



以下の安全性に関する指示を守らないと、火災・感電・その他の負傷や損害を招く恐れがあります。

負傷や損害を招く行為

- ・本体を分解する、落とす、ぶつける、変形させる、穴を開ける、濡らす、水に落とす、水で洗う、電子レンジにかける、燃やす、塗装する。
- ・ドットコード読取口に異物を挿入する、尖ったものでつつくなど。
- ・本体から USB ケーブルを引っ張る。
- ・ペン先を強く押し付ける、強い筆圧で書き込む。

G-Pen2 を修理する / 改造する

絶対に G-Pen2 を分解したり、修理・改造をしないでください。保証の対象外となります。また、誤って本体を分解してしまった場合も、本体内部には絶対に触らないでください。

G-Pen2 を使用する / 保管する

G-Pen2 は温度が 5℃～35℃(41°F から 95°F) で保たれた場所でお使いください。高温または低温の状態では、G-Pen2 が一時的に動作しなくなる恐れがあります。また、湿度の高い場所やほこりの多い場所での使用・保管をしないでください。故障・火災の原因となります。なお、太陽光や強い赤外線が当たる場所では使用できません。

USB ケーブルを取り扱う

- ・ケーブルを首にかけて遊ばないようにしてください。窒息の危険があります。
- ・USB 端子を外す時は、ケーブルを引っ張らずに USB 端子を持って抜いてください。

保護者の方へ：お子様へのご注意

G-Pen2 には小さな部品が内蔵されています。お子様が誤って飲み込むことがないよう、小さな部品はお子様の手の届かない場所へ保管してください。

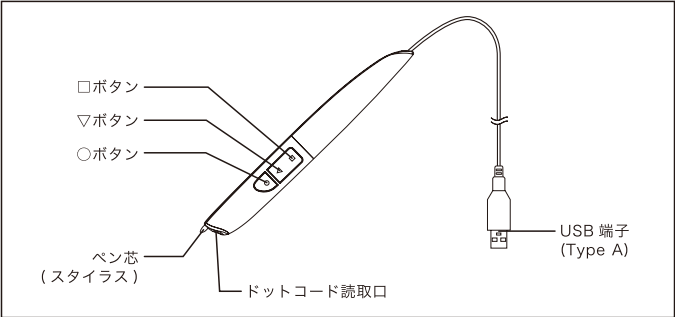
②取扱いに関する重要な情報

- ・G-Board の表面にはドットコードが印刷されており、G-Pen2 のスタイラス芯で書き込んだ軌跡が座標データに変換されます。G-Board は表面のみご利用になります。
- ・G-Pen2 のペン先には必ずスタイラス芯を装着してお使いください。ボールペン芯を装着して使用すると、G-Board にインクの跡が残る可能性があります。
- ・G-Board 表面をスタイラス芯で強く書き込むとペン先の跡が残りますが、ドットコードの認識には影響ありません。なおスタイラス芯の先端は丸くなっており、G-Board 表面をニス加工で保護していますが、同じ位置をなんども強い筆圧で描くと、ニスが剥がれてその部分のドットコードが認識できなくなる場合がありますのでご注意ください。
- ・G-Board 表面に鉛筆、ボールペン、マーカーペンなどで書き込まないでください。ドットコードを読み取ることができなくなる場合があります。

※ドットコードは極小の点（ドット）から構成される2次元コードです。

③各部の名称と機能

(1) G-Pen2



< ボタンの機能 >

G-Pen2 には3つのボタンがあり、押すことで下表のように動作します。

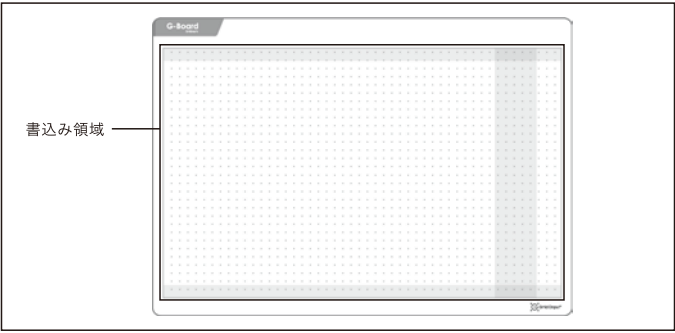
ボタン	動作
○ボタン	マウスモード / デジタイザーモードの切り替え
▽ボタン	マウスの右クリック（コンテキストメニューの表示）
□ボタン	キーボードの Delete キー

※▽ボタンと□ボタンはシーソーボタンとなっていますので、ボタンの端部を押してください。

< 主な特徴 >

- ・HID(Human Interface Device) デバイスとして、一般的なマウスやキーボードと同じように PC に認識されるペン型デバイスです。
- ・専用のシート (G-Board) と共にお使いいただくことで、Web 会議システムのホワイトボードや、手書き入力に対応したオフィス系アプリ、ドロー系アプリなど多数のアプリでマウスおよび手書きペン (デジタイザー) として使用できます。

(2) G-Board



< 書き込み領域 >

- ・G-Board の灰色の線で囲まれた四角い領域が手書き入力できる書き込み領域となっています。
- ・設定されたアスペクト比によって、下図のように G-Board の書き込み領域が変わります。なお、何も設定しない場合は「16:10」として機能します。



- ・「16:10」では書き込み領域の全面がディスプレイの表示領域に相当します。
- ・「16:9」では書き込み領域の上下の灰色の帯を除いた領域がディスプレイの表示領域に相当します。
- ・「3:2」では書き込み領域の上下は全面、横方向は書き込み領域右にある灰色の縦帯の右辺までがディスプレイの表示領域に相当します。
- ・「4:3」では書き込み領域の上下は全面、横方向は書き込み領域右にある灰色の縦帯の左辺までがディスプレイの表示領域に相当します。

2、基本の操作

①PC との接続

- ・お使いの PC の USB ポートに G-Pen2 を接続します。PC に初めて接続した場合は自動的にドライバーがインストールされ、使用可能になります。

②ペンの操作

- ・G-Pen2 を PC に接続した後は、デジタイザーモードになっています。Windows では、下図のようにカーソルの形状でマウスモードかデジタイザーモードかの判別ができます。見やすいようにカーソル表示を大きくすることをお勧めします。



マウスモード



デジタイザーモード

- ・カーソル表示サイズを変更するには、Windows ではスタートメニューから「設定」→「デバイス」→「マウスとカーソルのサイズを調整する」とクリックし、「ポインターのサイズを変更する」のスライダーで調整します。
- ・Mac ではアップルメニューから「システム環境設定」→「アクセシビリティ」→「ディスプレイ」とクリックし、「カーソルのサイズ」のスライダーで調整します。

Windows



Mac



- ・ペン先はスイッチになっており、ペン先を G-Board に押し付けてスイッチが ON になる動作をクリックと言います。この時、マウス操作の左クリックと同じ動作となり、デジタイザーモードでペン先を押し付けたまま（ペン先スイッチ ON の状態のまま）G-Board の書き込み領域内でペン先を移動させると手書き入力できます。筆圧が弱いとペン先スイッチが OFF となり手書き入力できません。
- ・ペン先スイッチが ON にならない状態でペン先が紙面に触れる動作をタッチと言います。ペン先が書き込み領域内にタッチするとカーソルが表示され、タッチしたままペン先を移動させると、マウスモード、デジタイザーモード共にカーソルを移動させることができます。
- ・G-Pen2 本体のボタン操作は、ペン先を G-Board 紙面から離して操作してください。ドットコード認識中はボタン機能を使用できません。

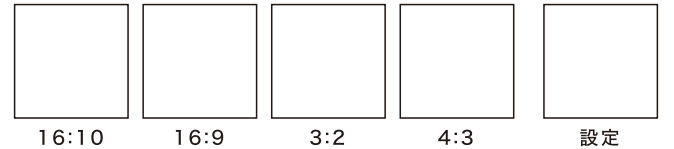
③アスペクト比の設定

- ・設定されたアスペクト比が、PC のディスプレイサイズの縦横比（アスペクト比）と異なる場合、書き込んだ文字や図形が縦長や、横長に変形して表示されます。
- ・お使いの PC のディスプレイの解像度を確認してください。通常は「推奨」と示されている解像度がディスプレイサイズのアスペクト比となっていますので、下表を参考に「アスペクト比設定ボタン」で設定してお使いください。なお、ディスプレイの解像度は「推奨」以外の解像度でもお使いいただけます。その際、書き込み領域は変化しますが書いた文字や図形は正しい縦横比で表示されます。
- ・「アスペクト比設定ボタン」による設定は、設定を間違えた場合や別の PC をご使用する場合に何度でも行え、最新の設定が有効となります。
- ・お使いの PC のディスプレイ解像度の「推奨」のアスペクト比と設定値が異なる場合がありますが、「その他」の欄を参考に近い「アスペクト比設定ボタン」で設定してください。

横×縦	設定値	横×縦	設定値	横×縦	設定値	設定値
16:10		3:2(16:10.67)		その他		
640×400	16:10	480×320	3:2	176×144	16:13.09	4:3
1280×800	16:10	720×480	3:2	400×240	16:9.6	16:10
1440×900	16:10	960×640	3:2	352×288	16:13.09	4:3
1680×1050	16:10	2736×1824	3:2	640×350	16:8.75	16:9
1920×1200	16:10	2880×1920	3:2	800×480	16:9.6	16:10
2560×1600	16:10	4:3(16:12)		864×480	16:8.88	16:9
2880×1800	16:10	128×96	4:3	1024×480	16:7.5	16:9
3072×1920	16:10	320×240	4:3	1024×600	16:9.375	16:9
3840×2400	16:10	640×480	4:3	1280×600	16:7.5	16:9
16:9		720×483	4:3	1120×750	16:10.71	3:2
320×180	16:9	768×576	4:3	1280×768	16:9.6	16:10
854×480	16:9	800×600	4:3	1152×870	16:12.08	4:3
1024×576	16:9	832×624	4:3	1280×1024	16:12.8	4:3
1136×640	16:9	1024×768	4:3	1600×1024	16:10.24	16:10
1280×720	16:9	1152×864	4:3	2048×1080	16:8.4375	16:9
1366×768	16:9	1280×960	4:3	4096×2160	16:8.4375	16:9
1920×1080	16:9	1400×1050	4:3	8192×4320	16:8.4375	16:9
2048×1152	16:9	1440×1080	4:3			
2560×1440	16:9	1600×1200	4:3			
3200×1800	16:9	2048×1536	4:3			
3840×2160	16:9	2304×1728	4:3			
4096×2304	16:9	3200×2400	4:3			
5120×2880	16:9					
7680×4320	16:9					

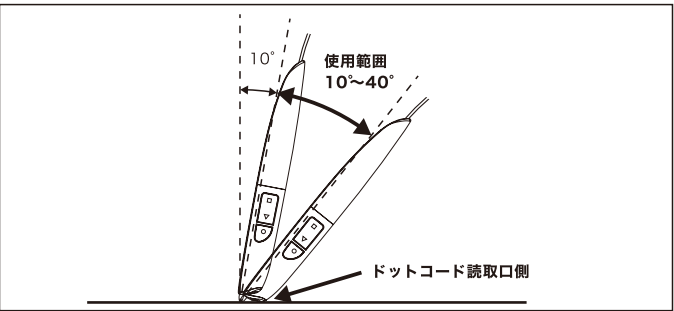
＜アスペクト比設定ボタン＞

- ・上の表を参考に設定したいアスペクト比の上にある四角の枠内を G-Pen2 でクリックしてください。アスペクト比をクリックしたら右端の「設定」の上の四角の枠内をクリックしてください。選択したアスペクト比が G-Pen2 に設定されます。
- ・以上で G-Board の書き込み領域とディスプレイの表示領域が一致して G-Pen2 に設定され、対応アプリケーションで正確に手書き入力ができるようになります。



3、使用上の注意点

- ・G-Pen2 を使用する際、G-Pen2 のドットコード読取口が紙面から離れすぎないようにご使用ください。ペンがドットコードを認識できず、カーソルの表示や手書き入力ができなくなります。
- ・G-Pen2 の構造上、紙面に対するペンの角度が垂直に近い（0°～9°）、あるいは傾けすぎるとドットコードを認識しづらくなり、綺麗に手書きできなくなります。下図のようにドットコード読取口側に 10°～40°傾けてご使用ください。なお、ペンを下図の手前や奥側に傾けた場合もドットコードが認識しづらくなります。



- ・使用する際に、ペン先を強く押し付ける、強い筆圧で書き込む、たたくように押し付けるなど、ペン先に大きな負担がかかるような操作はしないでください。ペン先スイッチが破損する場合があります。
- ・USB ハブを使用すると G-Pen2 が認識されない場合があります。PC の USB ポートに接続してお使いください。
- ・G-Pen2 は PC に接続したままにせず、ご使用が終わったら PC から取り外すようにしてください。

4、仕様

＜G-Pen2＞

製品名	G-Pen2		
動作環境	Windows 8.1、10(ともに 32bit、64bit) MacOS 10.15 以降		
最大外形寸法	約 14(幅)×130(高さ)×16(奥行) mm		
質量	約 16g(ケーブル含まず)	端子	USB Type A
インターフェース	USB2.0	電源	USB バスパワー
消費電力	70-80mA (350-400mW)	動作温度	5℃～35℃(結露なきこと)

＜G-Board＞

製品名	G-Board		
種別	プラスチック製マウスパッド(表面コーティング処理)		
外形寸法	横幅 257、縦幅 182、厚み 0.5 mm		
質量	約 35g	製造国	日本

5、その他

①お手入れの仕方

- ・G-Pen2 が汚れた時は、柔らかい布やウェットティッシュで拭いてください。汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。
- ・G-Board の表面が汚れた時は、柔らかい布やウェットティッシュで拭いてください。
- ・ベンジンやアルコールなどで拭いたりしますと、変質・変色することがありますので使用しないでください。

②トラブルシューティング

G-Pen2 を動かしても反応しない、反応が悪い

- ・USB 端子はパソコンに接続されていますか？
- ・USB ハブを介して接続していませんか？
- ・ドットコード読取口になにか詰まっていませんか？
- ・専用シートを使用し、書き込み領域内に書き込んでいますか？
- ・G-Pen2 を垂直に立てて使用していませんか？
- ・多数のアプリを同時に開いていませんか？

上記の点をご確認の上、異常が解消されない場合には、USB 端子を PC から外してから再度接続してください。それでも反応しない、改善されない場合は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

手書きした内容がディスプレイ上で歪む

- ・「アスペクト比設定ボタン」で正しくアスペクト比が設定されていますか？

ディスプレイ表示領域と書き込み領域の範囲が一致しない

- ・「アスペクト比設定ボタン」で正しくアスペクト比が設定されていますか？

G-Board 表面で鉛筆、ボールペン、マーカーペンを使用してしまった

- ・G-Board 表面で鉛筆、ボールペン、マーカーペンを使用するとドットコードを認識できなくなる場合があります。使用してしまったらウェットティッシュや柔らかい布などで綺麗に拭き取ってください。

6、問い合わせ先 / アフターサービス

【お問い合わせ先】

E-mail：support-grid@gridmark.co.jp
販売元：グリッドマーク株式会社
住所：〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 1-44-2 神田 TNK ビル 3F
受付時間：平日 10 時～12 時 /13 時～17 時(土日・祝祭日除く)
URL：http://www.gridmark.co.jp/

【保証規定】

本保証規定はお客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。本保証規定によって、お客様の法律上の権利が規定されるものではありません。
●保証期間内に正常な使用状態で故障した場合、無償にて修理します。
●製品が故障した場合は、保証書に必要事項をご記入のうえ、購入した販売店の購入証明書（レシート等）、商品と一緒にご購入店または弊社までご送付ください。なお、送料はお客様のご負担となります。
●以下のような場合には、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。
1. 保証書、購入証明書のご提示がない場合、また記入漏れ、改ざんが認められた場合。
2. ご使用の誤り、落下させたり、またはお客様の責任で行った修理、改造等による故障。
3. 天災、火災等が原因の故障、水分や異物が入り込んだことによる故障。
4. 誤った機器を接続したことによる故障。
5. 譲渡、転売、中古販売、オークション等にて入手された商品。
●修理にて交換された本体および部品の所有権は、弊社に帰属するものとします。
●本保証規定は、本製品の本体および付属品について修理をお約束するものであり、本製品の故障または使用による直接的、間接的、偶発的および結果的損害については、弊社は一切その責を負わないものとします。
●本保証規定は日本国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.

保証書		保証期間：ご購入日より6ヶ月
品 名：G-Pen2 / G-Board		ご購入年月日：
お名前：		ご購入先名：
〒 ー		
ご住所：		
※保証書は購入した販売店の購入証明書（レシート等）と一緒に大切に保管してください。 保証の際に必要となります。		
※本保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。なお、本保証書は日本国内のみ有効です。		